

広域避難者 2019 新春（ほっこり）交流会 報告書

平成 31 年 2 月

広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

東日本大震災からまもなく 8 年が経とうとしています。現在も、震災により避難生活を余儀なくされている方々は全国で約 5 万 3,000 人（復興庁：H31.1.10）となっており、そのうち都内に広域避難されている方々は 4685 名（復興庁：H31.1.10）で、東京都が最も多く避難されている都道府県となっています。

広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会では、多くの避難者が一同に介し、避難者同士の交流、また避難者と支援者が交流できる場を設けて参りました。そして今年度初の試みとして、新春（ほっこり）交流会を行いました。2020 年 3 月で復興庁がなくなることに鑑み、クローズドミーティングで決めたテーマを中心に意見交換をしました。また交流会では、現在の素直な気持ちを共有したい、という思いから堅苦しい雰囲気にならないよう、コーヒーやお菓子をいただきながら行いました。

日 時 2019 年 1 月 20 日（日） 11 時 00 分～15 時 00 分

場 所 清澄庭園 大正記念館
（〒135-0024 東京都 江東区清澄 3 丁目）

参加者 76 名
うち、支援者 23 名

内 容

1 開会

実行委員 挨拶 山田榮子（青空会 代表）

※なお、開会式・閉会式の司会は、広域避難者支援連絡会 in 東京の岩村真奈美（中央労働金庫）と阿部宏大（東京ボランティア・市民活動センター）が務めました。

2 参加者紹介

- ・全参加者の所属がわかるように団体ごとに紹介をしました。
- ・避難元ごとのテーブル内で自己紹介を行いました。

3 意見交換

趣旨説明：木幡四郎（ふるさとを想う会 代表）

- ・意見交換の主題となる、クローズドミーティングで話し合われた内容やテーマについて紹介しました。

<テーマ>

- ①2020 年度に復興庁がなくなる。支援が少なくなる、あるいは全くなくなる。そのような状況の中で、皆が何を考えているのか聞きたい。
- ②今現在、避難元の地域（福島・宮城・岩手）や避難者の間ではどんなことが起きているかの情報が広域避難者に十分に届いていないと感じる。現地の情報をしっかり知りたい、話し合いたい。
- ③避難元の地域に戻ることを考えているか、ということの本音を聞きたい。一步踏み込んだ質問だが、こういった機会に参加者の心の内を聞きたい。

- ・テーブルごとに連絡会メンバーがファシリテーターとしてグループに加わり、避難者の方と意見交換をしました。上記のテーマをもとに、みなさんの想いを共有していただきました。



4 お昼休憩

5 交流会

・意見交換の時とは異なるメンバーで自由に交流する時間です。コーヒーやお菓子などを用意し、テーマは設けずざっくばらんに話しいただきました。

6 閉会

副実行委員長 挨拶 今里雅之（かながわ東北ふるさと・つなぐ会 代表）

- 主 催** 広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会
（実行委員メンバー）青空会、コスモス会、鷺宮都営住宅自治会、東雲の会、ふるさとを想う会、NPO 法人とみおか子ども未来ネットワーク、みちのくまほろば会、むさしのスマイル、かながわ東北ふるさと・つなぐ会、双葉町埼玉自治会、広域避難者支援連絡会 in 東京
（広域避難者支援連絡会 in 東京 参加団体）荒川区社会福祉協議会、いたばし総合ボランティアセンター、金光教首都圏災害ボランティア支援機構、災害復興まちづくり支援機構、全労済、中央労働金庫、東京足湯プロジェクト、東京災害ボランティアネットワーク、東京都生活協同組合連合会、東京ボランティア・市民活動センター、東京労働者福祉協議会、認定 NPO 法人 AAR Japan（難民を助ける会）、NPO 法人こどもプロジェクト、連合東京
- 後 援** 福島県、宮城県、岩手県、東京都、江東区

※この事業は、タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラムの助成金、また、中央ろうきん社会貢献基金、全労済、金光教首都圏災害ボランティア支援機構等の支援金を受け実施いたしました。

タケダ・赤い羽根
広域避難者
支援プログラム



清澄庭園内の大正記念館。当日は晴天にめぐまれました。



新春交流会の様子。多くの方に出席していただきました。



新春（ほっこり）交流会 実行委員長山田榮子（青空会）の挨拶。



当日の司会は、広域避難者支援連絡会 in 東京の岩村真奈美（中央労働金庫）と阿部宏大（東京ボランティア・市民活動センター）2人が務めました。



ふるさとを想う会の代表木幡四郎による意見交換の趣旨説明。過日行われたクローズドミーティングの内容を中心にお話しました。



お昼のお弁当。お弁当を食べる時間も交流を深める機会となりました。



東京ボランティア・市民活動センター所長山崎美貴
子よりごあいさついたしました。



交流会の様子。くじびきで席を決め、グループになりました。ざっくばらんにお話いただけました。



新春（ほっこり）交流会 副実行委員長のかながわ
東北ふるさと・つなぐ会代表の今里雅之より会のま
とめと閉会の挨拶をしました。



大正記念館からの清澄庭園をながめ。終了後はみな
さん庭園の散歩を楽しんでいました。